

北区 女性だより

Azalea

アゼリア



- 水泳を通しての出会いを大切に
竹宇治聡子さん(上十条5丁目)
- 平和な地球を願って……
5万羽の鶴が折られました。
- 北区女性行動計画「アゼリアプラン」(平
成3年度～12年度)が策定されました。
- INFORMATION
・「アゼリアプラン」策定記念
フォーラムとシャンソンの集い
- ・北区女性問題リレー講座
- ・「平和折念週間」講演と詩の朗読
- 聞き書き自分史
小山信子さん(豊島3丁目)
- 北区ボランティアセンター

心をつくして泳ぎたい

水泳を通しての出会いを大切に

竹宇治 聡子さん (上十条5丁目)

「普通が一番大事だと、私はいつも思っていますから普通にしています。あの青春時代の13歳から22歳までの部分は、少し違っていたかも知れませんがあとほとんど普通です。家族がいて家庭があつて普通に生活することが一番大事、基本ですよ。基本がたつていては何もなりませんから、「私のもっとも大事な事は、主婦です」と」

一年ほど前、夫の竹宇治清高氏の転勤により、福岡市から清高氏のふるさと北区へ。現在、都内でスイミングスクールコーチとして活躍しています。

福岡にお住まいの時も、スイミングスクールコーチのほか、3人の娘さんのうちのひとりがぜんそくを患ったことから、国立療養所南福岡病院の医師の指導を受け、「ぜんそく水泳教室」を実施するなど水泳をいかした活動を展開してきました。その間もずっと、3人のお子さんが泳いでいる間に他の人を教えるというかたちで無理なく仕事を進めるなど、家庭中心の基本に沿ったやり方を通してきました。

「ひとつの家庭があつて夫は夫の仕事、妻は妻の仕事をきちんとやった上に、もひとつ自分の人生を彩るような何かをやるっていうのが大事なような気がするの。1枚2枚と加える色をどういう色にするか、それは本人のもっている才能や努力、いろんなものが積み重なり、その上でその人なりのいい色になると思うのね」

竹宇治さんが、水泳選手として大きく花開いたきっかけのひとつに、名水泳コーチ黒佐年明氏との出会いがあります。女性が本当にいいかたちで生きていくためには、「目を開か



旧姓田中。ローマ、東京両オリンピックで活躍。昭和34年200メートル背泳で世界新記録を出して以来、つぎつぎと記録を縮め、200メートル背泳の2分28秒2の記録は、39年まで破られませんでした。その偉大な功績が認められ、平成3年5月、アメリカ・フロリダ州フォートローダーデール市にある国際水泳殿堂入りを果たしました。



パノラマプール十条台「開設式エキシビジョン」

「ひとつの人に出会うことが大切と、竹宇治さんは言います。そしてさらに、良い出会いをするためには自分自身を磨き、その時にそなえなければと話します。」

基本を大切にベストをつくして生きてきた竹宇治さんの人生への自信が、言葉の一つひとつに感じられました。

「水っていうのは不思議なもので、人間の体

をホッとさせてくれます。生命はもともと水から生まれたと言われていますから」

今年7月、代々木五輪プールで開かれた第4回パンパシフィック・マスターズ選手権でも、竹宇治さんの力強い泳ぎが会場を沸かせました。

平和な地球を願って…… 5万羽の鶴が折られました。

願い、祈り、愛、折鶴に書かれたさまざまな思い。翼に託したやさしさが飛翔しました。

北区では、8月6日～10日を平和を折る週間とし、北とぴあを中心にさまざまな事業を展開しました。北とぴあ一階ホールには、女性計画推進室の事業として区内の小・中学生、女性団体、デイホームなど、区民のみなさんに折っていただいた折鶴を集め壁画を作成し、好評を得ました。一羽一羽の折鶴に書かれた「ひと言」の中から、ほんの一部をご紹介します。



あつかるい未来が見えますように

高校へいってもバレーボールのレギュラーになれるように

地球へんいがおきた時、世界にいる生きものが宇宙のどこかへにけられますように

人類さべつ反対

動物がいつばい住める家がほしいです。

緑をもっと大切に。命のようにあつかってください。

身も心もいつまでも若くいられますように

やさきゅうせんしゅになりたいな

たくさんのお友達にかこまれて素直な明るい子に育って下さい。

スーパーマンになりたい

なんでもだせるドラエモンになりたい

自転車にのれますように

みんな、仲良く暮らそうな!

じょうぶで働けるように

子供たちが事故にあいませんように

おともちがいつばい

よるひとりであられるように

親不幸はするなヨ!

毎日 元気

明るく素直な子供に育ちますように

サッカーが上手になりますように

これからの未来 幸せたくさんめぐってきま
すように

誰もが相手を思いやれるよゆうのある世界を
望みます。

人間と人間が戦いあうことのないように

夏期こうしゅうがたのしくできますように

もつともつとえが上手になりますように

すてきな人に出会えますように

ずっとやさしい気持ちでいられますように

おじいちゃんが生きかえりますように

戦争のない平和な世界が、長く続きますように

せんそうでしんでしまった人たち、やすらかに
おねむりください。

雲仙の人たちがやくへいわになるように

男女平等参加型社会を築くために

北区女性行動計画「アゼリアプラン」 (平成3年度～12年度)が策定されました。



アゼリアプランは、
輝いて生きるあなたを
応援します。

ました。女性行動計画も、みなさんに親しんでいただけるよう「アゼリアプラン」と命名しました。

アゼリアプランの基本的な考え方

☆基本理念

性による差別を排除し、男女がお互いの人権を尊重しあい、平等に生きる精神を基本理念とします。

☆目的

過去の長い歴史の中で「男は仕事、女は家庭」という意識が培われ、固定化した性別役割分業観や古い社会慣行が根強く残っており、女性を取り巻く状況は、依然として女性であるという理由だけで男性と差別されたり、社会参加を阻まれている状況が未だ見受けられます。

このような中で、男性も女性も、お互いの人権を尊重し合い、人間として対等な立場で

政治、経済、地域等のあるゆる分野において、主体的な参加を進めることが重要な課題です。

アゼリアプランは、男女平等参加型社会の実現をめざすに当たっての区の考え方や取り組みを明らかにし、女性関連施策を総合的・計画的に推進することを目的とします。

政治、経済、地域等のあるゆる分野において、主体的な参加を進めることが重要な課題です。

☆性格

アゼリアプランは、女性問題を解決するために区が行う施策の基本方針です。策定に際しては「北区婦人問題懇話会」の提言を尊重して行い、「第二次北区基本計画」との整合性を保ち、その個別計画として位置づけます。

☆期間

計画の期間は、平成3年度から平成12年度までの10年間とします。

各事業毎に実施の区分(既に実施している事業の充実、前期に新たに実施する事業、後期に新たに実施する事業、実施する方向で検討する事業、国等への要請事業)を明記して

あります。

☆推進

この計画を推進するためには、区全体で取り組む必要があります。横断的な組織である庁内推進組織を設置します。

また計画の推進は、もとより区だけでなく、市民のみなさんご協力が必要です。従って、市民のみなさんへの積極的な情報提供を行っていくとともに、市民参加による行動計画推進組織を設置し、アゼリアプランの推進に関することやその実施状況に関するご意見を伺うこととします。

区は、平成2年12月に「北区婦人問題懇話会」から「女性の地位と福祉の向上をめざして」と題する提言を受けました。

そして、その提言を尊重しながら、今般、平成3年度から12年度までの10年間の北区女性行動計画「アゼリアプラン」を策定しました。

アゼリアプランは、女性も男性もひとりの人間として理解しあい、お互いに自立し、いきいきと暮らしていくための総合的な計画です。区民のみなさんのご理解とご協力を得て、区はこの計画の推進に全力を注ぎます。

アゼリア(Azealia)は、区の花「つつじ」の英語名で、女性問題情報誌「北区女性だより」の愛称として、公募により選ばれ

アゼリアプランの内容

アゼリアプランは、次の六つの主要課題に分類しています。

- ① 政策決定への参画
- ② 情報サービスの充実

- ③男女平等を目指す人間形成の推進
- ④心身の健康保持と生活の安定・向上
- ⑤多様な保育施策の確保と就労援助
- ⑥行動計画の推進

それぞれの主要課題の具体的内容については、以下のとおりです。

①政策決定への参画

区の委員会や審議会に、もっと女性が参加するなど女性の社会参加を促進します。

女性の持つさまざまな能力を、地域社会の中で十分に発揮できるよう、学習機会や参加機会を充実し、女性の人材を育てるとともに、委員会や審議会などへの積極的な女性の登用を図ります。

また、区においても、研修の推進や組織内の役割分担の見直しにより、女性職員の能力開発を進めます。

☆主な事業

- 委員会・審議会などへの積極的な女性登用
- 女性人材リストの整備
- 仮称「女性大学」の開講
- 地域活動における女性の役割りの見直し
- 庁内組織の役割分担の見直し
- 庁内における女性管理職進出の促進

②情報サービスの充実

女性白書から就職情報まで、さまざまな生活シーンの情報を提供します。

他の自治体あるいは女性団体とのネットワーク化を進め、必要な情報の収集を実施するとともに、女性問題解決のために諸調査を実施し、それらを豊富に提供します。また、区

の女性誌「アゼリア」の内容の充実を図るほか、女性の自立や問題解決のため、多様な相談機能を充実します。

☆主な事業

- 婦人センター内女性情報コーナーの拡充
- 図書館などにおける女性情報の提供
- 女性問題に関する定期的意識調査の実施
- 北区女性日より「アゼリア」の充実
- 北区女性白書の発行
- 高齢者への就職情報の提供
- 女性総合相談窓口の設置

③男女平等をめざす人間形成の推進

「男だから」「女だから」ではなく、「人間だから」が基本です。

真の平等観にたつた人間形成をめざして、家庭・地域、学校教育、社会教育において、男女平等教育を推進します。

家庭・地域においては、主に啓発資料の発行や講座の開設を行い、学校においては、男女平等観に立った進路指導、性教育、教職員に対する研修等を推進します。また、社会教育においては、学習の機会及び内容を充実するとともに、学習の場となる施設の整備を図ります。

☆主な事業

- 両親学級などの充実
- 家庭教育啓発資料の発行
- 男女平等教育研修会の充実
- 進路指導主任研修会の実施
- 技術・家庭科の男女共修の推進
- 小中学校における性教育の推進

- 各種講座の開講
- 生涯学習センターの設置

④心身の健康保持と生活の安定向上

女性の保護や介護施策等を進めることにより、女性の生活の安定向上を図ります。

専業主婦やパート就労者等、健康づくりの機会に恵まれない女性の健康診査を受けやすい体制づくりを進めます。また、母性の重要性の理解を深めるための啓発活動や、育児への地域支援ネットワークづくりを進める一方、妊産婦の健康診査を充実するなど、母性の保護と母子保健の充実に努めます。

さらに、女性がその多くを担っている介護・看護に関する施策の充実を図っていきます。

☆主な事業

- 区民健康診断の充実
- 健康増進センターの建設
- スポーツ教室等の充実
- 母子保護啓発紙の発行
- 地域子育てグルーブの育成
- 妊産婦訪問指導の充実
- 高齢者在宅サービス（デイホーム）の整備
- ホームヘルプサービス事業の充実
- 介護サービス体制の整備
- ひとり親家庭の援助施策の充実
- 消費生活情報の充実
- 地域活動への参加促進

⑤多様な保育施策の確保と就労援助

子供たちにとって、保育所は家庭と同様、もうひとつの住まいです。

女性が安心して子供を産み、自由な活動が

できるような保育内容の充実、施設設備の充実等、ハード、ソフトの両面から多様な保育事業を検討・展開し、地域に開かれた保育所をめざします。また、男女が平等に働ける社会を創ることを課題に、働く女性のために、就労に関する情報提供、相談体制の充実、啓発活動を推進します。

☆主な課題

- 保育所の施設整備
- 零歳および乳児保育の体制整備
- 保育職員の研修の充実
- (仮称)保育基本計画策定委員会の設置および保育基本計画の策定
- 子育てに関する相談窓口の充実
- 魅力ある保育所づくりの検討
- 育児休業制度の普及
- 内職相談・あつ旋事業の充実

⑥行動計画の推進

アゼリアアプラン推進のために、推進委員会をつくります。

アゼリアアプランを総合的に推進するために、庁内推進体制の整備や区民参加による行動計画推進組織を設置します。また、女性問題解決のための拠点施設、女性総合センターの設置を検討します。

☆主な事業

- 職員研修の充実
- 庁内推進委員会の整備
- 区民参加による行動計画推進委員会の設置
- 女性総合センター設置の検討

北区女性行動計画

「アゼリアプラン」策定記念

フォーラム「ジャンソンの集い」

▽日時 9月5日(木) 午後1時30分～4時

▽会場 北とびあ つつじホール

▽記念フォーラム

「女と男のいい関係って、どういうことですか」

●コーディネーター

藤原房子氏 (日本経済新聞記者)

●パネラー

亀田温子氏 (十文字女子短期大学)

助教授

大森真紀氏 (立教大学教授)

汐見稔幸氏 (東京大学助教授)

▽ジャンソン

「女と男のアラカルト」 水織ゆみ氏

北区女性問題リレー講座

アゼリアプランの主要課題に関連したテーマで実施するリレー講座です。

第1回 (講座番号 1)

▽日時 10月24日(木) 午後2時～3時30分

▽会場 北とびあ 第2研修室

▽テーマと講師

「情報化時代における女性」

小池ユリ子氏 (キャスター)

第2回 (講座番号 2)

▽日時 12月5日(木) 2時～3時30分

▽会場 北とびあ 第2研修室

▽テーマと講師

「女性と社会参加」

向井承子氏 (作家)

▼定員 各回名



▼受講料 無料

▼申込 ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、受講希望講座番号(両講座の受講も可)を記入し、9月17日(火)(当日消印有効)までにお送りください。尚、定員になり次第切ります。

「平和祈念週間」講演と詩の朗読
感動と共感の波が
会場に広がりました。

北区では、区民のみならずともに、真の恒久平和と永遠の繁栄を願うために、8月6日(火)から約1週間を平和祈念週間と定めました。この週間には、さまざまな年齢層を対象とした、いろいろな角度からの平和関連事業を集中して行いました。

女性計画推進室もこの企画の推進を担い、北とびあロビーの「折鶴で平和祈念を」(折

日色ともゑ氏による詩朗読



鶴によるアートと千羽鶴、および「講演と詩の朗読」(8月19日(金)、北とびあ さくらホール)を企画・進行しました。「講演と詩の朗読」では、講師に澤地久枝氏を迎え、「いのちの重さ」と題する講演を開催。続いて、日色ともゑ氏による詩朗読「やさしさを詩って」(サトウハチロー「おかあさん」ほか、ピアノ演奏 亀山法男氏)を聞きました。ともにやさしさあふれる展開のうちに、平和への祈念がひしひしと胸に迫り、共感と感動の波が会場いっぱい広がりました。

澤地久枝氏



4時に工場から帰宅して夕飯を作り、『今日は12時頃までかかりそうだ』と思えば、また9時すぎに手伝いにもどります。

小山 信子さん（豊島3丁目）

「の暮らしにとけ込ませていただきました」

信子さんが夫の好一氏と知り合ったのは、昭和48年。家族ぐるみで参加していた仕事関係者のボーリング大会の会場でした。交際が始まって3年目の50年に結婚し、夫の両親との同居生活が始まりました。

「実家は製本業で、2階が住まいで下が仕事場。ずっとおばあちゃんと生活してきましたし、こちらも工場の上が住まいで両親といっしょ。新婚旅行から帰って、そのまんま入り込んだというか、自然なたちでこ



らのお子さんの子育てを中心に専業主婦としての生活を過ごすうち、しだいに工場の仕事を手伝う状況になりました。コンピュータ制御で動く金属加工の機械は、コンピュータをセットしてしまえば、材料を入れボタンを押せば自動的に材料を削り、製品を作りあげます。

「主人じやなきやいけないおとくいさんの用事ってありますよね。そういうときは『この機械止めたくないんでやってくれる』っていわれて『いいですよ』ってやるんですけれど、機械って不思議ですね。主人がまだガレージに着いていない位の間に壊れるんですよ。下のお子さんが幼稚園へ行く仕度をしている間に荷物を車に積み、いっしょに幼稚園まで行き、さらにメッキ工場や加工工場へ荷物を運搬するなど、くるくると仕事をこなしました。

「そんなせいか、息子が登園拒否をおこしましてね。それが一番つらかったですね。お帰りの時間には、おばあちゃんを頼らず自分で

必ず迎えに出るなどし、こうした問題も乗り切りました。

当時豊島3丁目の中央通り商店街に入った場所にある小山家の工場兼住宅は、車1台がやっと通れる一方通行道路に面していたため、材料の搬入や製品の搬出にたいへん苦勞がありました。トラックが駐車している間に他の車がやって来ると、作業はストップ、道をゆすつてから再開、の繰り返し。さらに、仕事場が狭く大型機械を増やせないこと、またなよりの悩みが、工場雑音もたらす近隣への迷惑でした。

「おばあちゃんが、とてもご近所付き合いが上手なので、みなさんは『大丈夫、そんなにうるさくないわよ』といってくれましたが、徹夜仕事なんてとても……」。

そんな時、北区が都の助成を受けて建設した豊島1丁目の工場アパートが、平成元年に完成。さっそく申請し、審査を経て工場を移転しました。

現在、好一氏とお父さん、3人の従業員が広くなった仕事場で効率良く作業を進め、信



子育てに夢中だった頃

子さんは、主にパソコンを使い仕事をいっさいひき受けています。昨年は、区が開催した「簿記講座」を受講し、簿記3級の試験に見事に合格を果たしました。また、豊島3丁目町会機関紙のお手伝いを引き受けるなど、地域活動にも意欲的です。

職人的技能が欠かされた時代から、コンピュータ制御の最新機械を使いこなす時代となった街の工場。経営を支える大切な力として、女性の存在はますます重要性を増しています。



北区ボランティアセンター

やさしいこころの発信拠点

北区社会福祉協議会事務局（区役所別館2階）に、昭和57年に開設したボランティア・コーナー。本年4月からボランティア・センターとして新たなスタートをきりました。

ボランティア・センターは、機会があればボランティア活動に参加したいと思っているみなさんの意思を受けとめ、実際に活動していただくために福祉施設や行政機関との間にたつて調整する役割を果たします。また、ボランティア活動の初歩や基礎知識、福祉についての研修や講座などを開催しているほか、ボランティア活動に関する相談を行っています。

現在センターには、個人、団体あわせて50名近いボランティアの方が登録し、さまざまな活動を展開しています。例えば、養護学校の遠足のお手伝い、老人ホームやデイ・ホームのイベントのお手伝い、ハンディキャップの運転、通院時の付き添い、会議・行事開催中の障害児保育、障害者の学習の援助など、多岐多彩です。古切手集めやリサイクル活動なども、大切なボランティア活動です。

特に、今年3回目を迎え、昨年は約200名もが参加した「体験ボランティア（サマーアクション'91）」。7月下旬から

8月上旬にかけて、大勢の若者たちがボランティア活動に参加し、「いつもとはひと味もふた味も違う夏」を体験しました。



ボランティアセンター
(北区社会福祉協議会事務局)



体験ボランティア「車イスウォークラリー」

ボランティア・センターには、集会所や作業に使える学習室があるほか、印刷機やビデオカメラなどの機材の貸し出しや図書の貸し出しも行っていきます。「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」に、ぜひ、あなたの時間と力をお貸しください。

また、おとしよりの通所施設、デイホーム桐ヶ丘（桐ヶ丘1-17W37-101 3908-1277）にもボランティア室があり、センター分室となっています。ご近所の方、一度のぞいてみてください。



編集後記

●男女平等参加型社会の実現をめざして、北区の女性関係施策の基本方針を定めた「アゼリアプラン」が策定されました。女性と男性がいきいきと暮らしていくためのこのプランの推進を、着実に図っていきたく思います。

●本誌の中で、その概要について報告しましたが、詳細については女性計画推進室にお問い合わせください。

●前号までの誌名「アゼリア」を、読みやすく、より親しみやすいものとするために、本号から「アゼリア」としました。引き続きご愛読いただければ幸いです。

●スタッフ一同、内容はもちろん誌面の充実にも、ますます努力をそそいでまいります。ご指導と情報の提供、ご感想をお寄せください。

アゼリア

北区女性だより

発行／東京都北区

企画・編集／総務部女性計画推進室

3908-1111

制作協力／鯨吼社